市保連だより

2022
（1 月）
［第 510 号］

令和４年１月１日発行
一般社団法人熊本市保育園連盟

発行責任者　上　野　誠　之

企画広報委員会

委員長　松下　英信
委員　今村　弘之　笠田　たつ子
坂本　純　蓮澤　哲
吉村　美穂

〒860-0004 熊本市中央区新町 2-4-27
熊本市健康センター新町分室 2 階
TEL（096）322－0096

ウォーク＆クイズラリーを初開催

毎年秋に開催されてきた「連盟体育祭」ですが、今年度はコロナ禍の中で、密になることを心配し、コロナと闘い懸命に働く会員の皆さまに、日常を忘れ自然の中を歩くことで、心のリフレッシュを図ってもらうとともに、クイズやゲームなどをしながら会員・家族間の交流と親睦を深めていただこうと「ウォーク＆クイズラリー」を計画しました。

雨上がりの秋晴れの中、11 月 13 日（土）熊本県民運動公園に、一般・ファミリーの参加者337名とご来賓19 名をお迎えし、役員とスタッフ 51 名の400名を超える人々が集い、三部構成で開催されました。

まず、第一部の開会式では熊本市保育園連盟の上野誠之理事長の挨拶の後、ご来賓を代表して、熊本市長大西一史様（代理　子ども未来部長早野貴志様）、衆議院議員坂本哲志様、衆議院議員木原稔様、参議院議員松村祥史様、参議院議員馬場成志様よりお祝いの言葉をいただきました。

第二部のウォーク＆クイズラリーでは、運動公園の広い会場の中を散らばった参加者は、決められたポイントを探し、クイズやゲームを楽しんでいました。クイズでは、「昭和 24 年熊本市保育園連盟開設時の参加保育園数は？」や「熊本市の市鳥は？」などの難しい問題に頭を悩ませ、ゲームでは、フリスビーを使ってのディスクゴルフや文字探しに、走り回っていました。

第三部は、野外コンサート会場でミニコンサートと表彰式を行いました。短い時間のコンサートでしたが、マリアボイス代表ほんだゆみこさんの素晴らしい歌声を聞き、共に歌って楽しみました。その後、一般の部・ファミリーの部と分けられた表彰では、準備された沢山の賞品が配られ、閉会となりました。

今後も、熊本市保育園連盟では、保育園・こども園で働く会員皆さまのため、求められる情報や、様々な事業をおこなっていきます。皆様のご意見・ご参加をお待ちしています。

私の楽しい保育　幼保連携型認定こども園こずえ保育園

「こんなふうにやってみよう」「すごい発見だ～」と、子どもたちが経験を通してさまざまなことを発見し興味を持つことに共感できる毎日が楽しいです。保育者が制作し飾っていた「トンボ」を見て　♪とんぼのめがねは水色めがね～♪と口ずさみ「トンボつくりたいな」のつぶやきから「トンボ」作りが始まりました。

カラーセロハンで目を貼り、胴体は割り箸。色画用紙で羽をつくり模様を描きました。左右違った色で目を作る子どももいました。外に出てかざしてみながら景色や影が変わる不思議さに驚きと喜び。苦戦している友だちがいると自ら手伝う姿が見られ、思いやりの心が育ってきたことも嬉しかったです。来春は年長クラスになる子どもたち。経験の浅い私は、試行錯誤しながら子どもたちの「やりたい！」にチャレンジし、笑顔あふれる保育を目指していきたいと思います。

コロナ禍の二年目　熊本すみれ保育園

コロナ禍での保育も二年目の冬を迎えようとしています。園内の各所の消毒、そして玩具・遊具・家具の消毒も従前以上に丁寧に実施し、送迎の際の園児・保護者の手指の消毒はマナー・ルールの一つになりました。保育室の換気をはじめとする環境を感染防止に対応させ、子ども達に園生活をどう快適に過ごしてもらうのか、職員の気遣い、苦労は絶えません。８月後半からの市内保育園での感染発生の報道は、職員により一層の緊張をもたらすとともに、保護者から職場で感染者が発生したが登園してよいのかとか、園で発生した場合の対応について等の問合わせが相次ぎ、判断のつきかねることも多々ありました。幸いにというか本園では園児、職員には感染者はでませんでしたが、緊張はいまだに続いています。感染状況は落ち着きつつありますが、予測しがたいものです。子どもたちや保護者・職員に笑顔に満ちた、穏やかな日常が戻ってくるよう願ってやみません。

食を楽しむ　幼保連携型認定こども園　なぎさこども園

毎朝10時を過ぎた頃から園内にいい匂いが漂いはじめ、その匂いに「今日の給食なぁに」「お腹すいた～」といいながら給食を楽しみにしているその様子に改めて子どもたちの健康と成長を支えていることを実感します。当園では園舎の隣の小さな畑で季節ごとに野菜を栽培し、1歳児から畑にでかけ、観察や収穫を楽しんでいます。しかし、昨年から新型コロナウイルス感染症の流行で、野菜の収穫後の一番の楽しみのクッキングについては、活動を控えることが多くとても残念に思っていますが、状況を見ながらできることを続けています。自分たちで育てて食べるという楽しみの他に、給食担当者が中心になって手作り味噌や梅干し、干し柿など食品が発酵する様子などを観察したり、当番活動では野菜を洗ったり、皮むきなども行っています。年長児はその他にご飯を炊いたり、自家製味噌で味噌汁を作ったりなど、毎日の給食や将来にも役立つ食の活動を積極的に取り入れています。このように「食」の活動はとても幅が広く、活動として楽しむだけではなく、最後は「食する」というおいしい満足感も得られ、記憶に残りやすい活動です。だからこそ丁寧に、そしておいしく楽しい食育活動を今後も続けていきたいと思います。

園の畑で取れたものも使って料理教室　幼保連携型認定こども園　わらべ

8月、園の畑でピーマンが取れました。そこで、餃子の皮にピザソースを塗って、ピーマン、ソーセージ、チーズを載せてホットプレートで焼きました。ピーマンが苦手な子どもたちも何故か美味しいと食べていました。やっぱり、自分で料理すると美味しいようです。

10月、園の畑で取れたサツマイモ。これを皆でマッシュポテトにして、先生のアシストで包丁を使ってキュウリを切りました。コーンと混ぜてマヨネーズで味付けして、サツマイモ・サラダの出来上がり。包丁を使うのはドキドキの初体験でした。他にも、袋の中にご飯とお好み具（梅、鮭、昆布）を入れてシャッフル。海苔を巻いて、おにぎりに。小食の子どもも何故か心配するほど、たくさん食べます。

2歳児クラスではたこ焼き器にベースを敷いて、粉砂糖とカラフルなチョコチップをトッピングして手作りおやつの完成です。

料理教室は子どもたちに大人気。手順があるので段取り力や、模倣する力を養えます。そして、材料が完成に向けて変化していくので子どもの好奇心を掻き立てます。最後に、先生やお友達と一緒に食べると格別の味！食材と生産される方に感謝して、ご馳走様です。

ぷち得情報

日常の生活の中で、「もう少し楽になるといいな」ということや、「少し得した気分」となるような、ほんの些細なことだけど知ると誰かに伝えたくなるようなものを集めてみました。皆さんでご覧ください。

いつかは終わるコロナ後に備えて、熊本の観光名所やグルメなど、お出かけ情報を調べてみていては如何ですか。例えば、「ラーメンナビ」では 50 店の掲載店舗からお好きなラーメンを探せます。「グルメガイド」では普通のいきなり団子のほかに、紫のもの、桜色のもの、栗とコラボしたものなど、変わり種が甘党のあなたを誘います。「体験くまナビ」では馬でのトレッキングや漁師体験、空中散歩など日常を忘れさせる活動が用意されています。独身の方にはデートスポット企画もありますよ。

熊本市：熊本市観光ガイド　　**熊本県：【公式】熊本県観光サイト もっと、もーっと！くまもっと。**

１月の予定

新型コロナウイルス感染拡大防止により延期・中止する場合がございます。

理　事　会	１月　６日（木）	市民会館シアーズホーム夢ホール 第７会議室
冬の自然楽校	１月 15 日（土）	立田山自然野外保育センター （雑草の森）
キャリアアップ研修 （子育て支援・保護者支援Ⅲ）	１月 16 日（日）	くまもと県民交流館パレア パレアホール
園　長　会	１月 17 日（月）	熊本ホテルキャッスル
キャリアアップ研修 （食育・アレルギー対応Ⅲ）	１月 22 日（土）	市民会館シアーズホーム夢ホール 大会議室
保育の安全（研修）	１月 25 日（火）	オンライン（ZOOM）
第７回雑草の森まつり	１月 30 日（日）	立田山自然野外保育センター （雑草の森）